

政策の目指す姿（案）

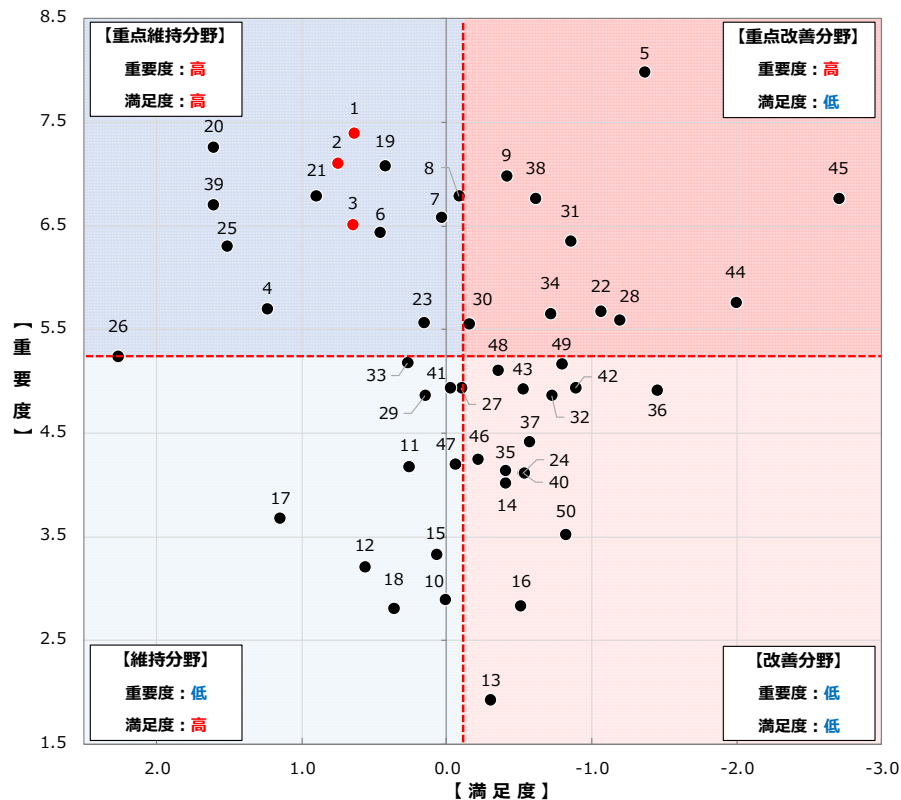
将来都市像を具現化するため、課題、強みから各分野の政策の目指す姿を検討する。

分野	子育て・教育
課題	
・人口減少の割合が、全国平均、岐阜県平均よりも高く、人口減少への対応が課題となっている。 ・市内においては、市街地から離れた地区の人口減少が激しい傾向にある。 ・全体としては、出生数を増加させること、教育を充実させることが、優先して取り組むべき課題であると考えられている。 ・必要な施策として求められているのは、子育て支援の強化。	
強み	
・人口減少率が全国平均程度の地区は、坂本地区、中津地区、苗木地区の3地区であり、用途地域が指定されているエリアを含む地区が中心である。 ・まちの将来イメージでは、「子育てのまち」のイメージが比較的強い。 ・「18歳までの子どもの医療費無料」が満足度の高い施策である。	

現総合計画の評価検証から抽出した将来のあるべき姿
・生活・学習における基礎、基本を習得した、たくましい人が育ち、よりよいひとり立ちができている。 ・子どもたちが、ゆとりのある良好な環境の中で教育を受けられ、確かな学力とたくましい体、豊かな心だけではなく、集団の中でたくましく生きていく力をつけている。 ・不登校児童生徒が減少するとともに、個々の自己肯定感、自己有用感が高まっていくことで、中津川に暮らす児童生徒の社会的自立が図られ、将来を担う人材の育成に結び付く。 ・将来において社会人として地元に着し、尊厳ある市民生活を送り、地域やまちづくりを担っていく人材が育つ。 ・幼児期に身に付けた生活習慣が、小学校生活や学習場面で身に付けた力として発揮できている。 ・適正な集団規模での幼児教育ができている。 ・集団の中での遊びを通して「生きる力」の基礎と、幼児期にふさわしい「生活習慣」の基礎が習得できている。 ・18歳（成人）を迎えた時に、「自分は大人である」と言える人が育っている。 ・結婚を希望する人に必要な支援があり、市民一人ひとりの希望がかなっている。 ・親となる心構えを含めた安全な妊娠・出産、保護者の育児力の向上がなされている。 ・子育てに悩む保護者が子どもを健やかに育てていくことができるよう子どもの健やかな成長発達の支援が行われている。 ・誰もが安心して子どもを産み育てられる地域づくりが進められている。 ・学童保育の充実、一時保育の充実を図り、子どもの居場所づくりなどが拡充されている。 ・切れ目のないこども施策などを推進し、こどもまんなか社会の実現を目指す。 ・少子化・人口減少のトレンドを反転させる。

市民アンケート調査

【満足度】								【重要度】							
項目	10～20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	項目	10～20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
全体平均	0.99	0.19	-0.53	-0.66	-0.94	0.04	0.72	全体平均	5.26	5.13	5.30	5.15	5.20	4.96	5.81
1.子育て支援の推進	0.57	0.11	0.64	0.38	0.41	1.12	1.22	1.子育て支援の推進	7.79	8.94	8.07	6.48	7.27	6.62	7.72
2.学校教育の推進	1.92	0.32	0.29	1.41	-0.12	0.53	1.17	2.学校教育の推進	7.05	8.70	7.86	6.21	7.09	6.37	7.17
3.幼児教育の推進	0.58	0.21	0.93	0.88	-0.17	0.74	1.49	3.幼児教育の推進	6.75	7.77	6.57	5.44	6.69	6.13	6.52



政策（案）

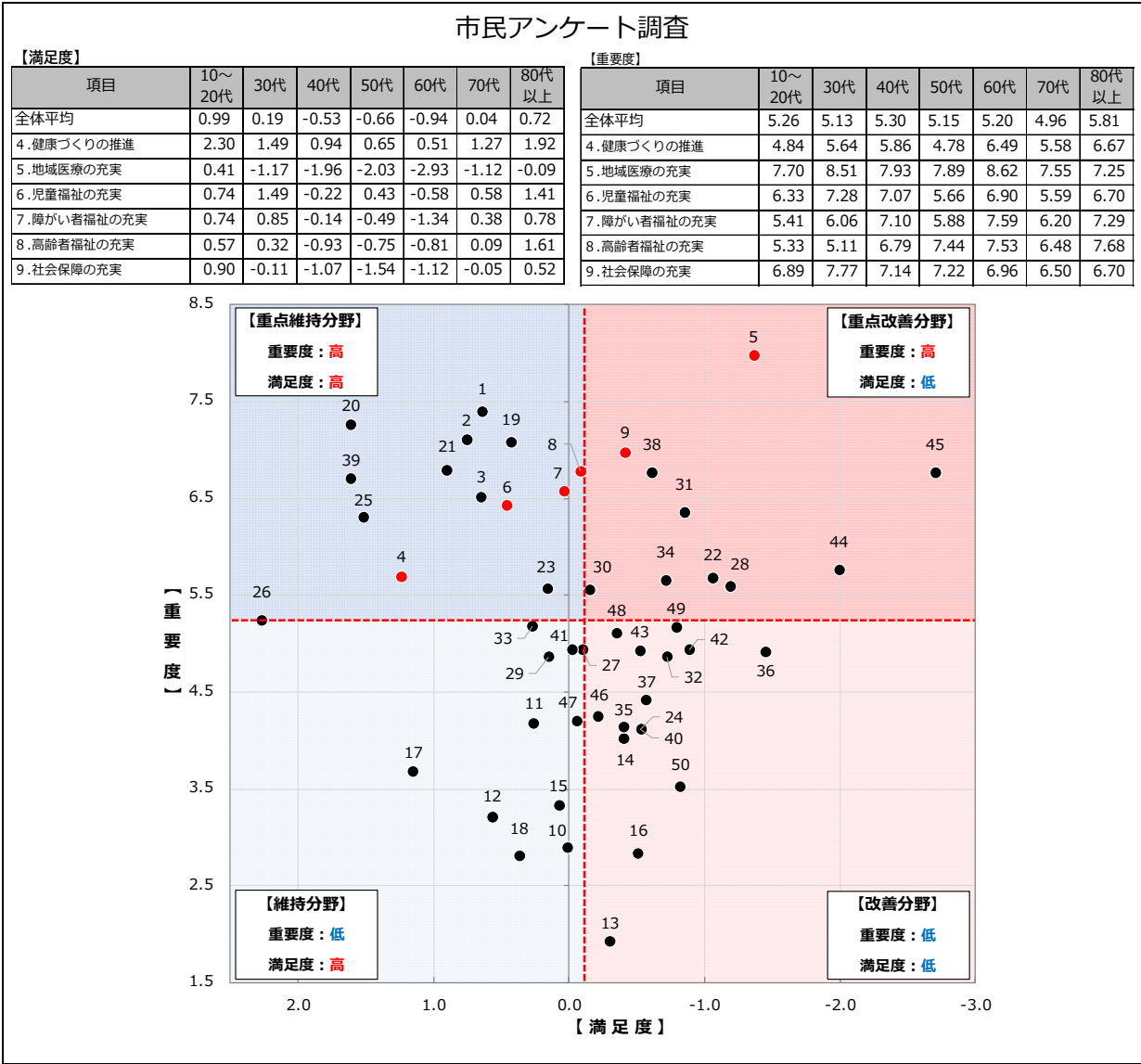
- ・心身共にたくましい子が、産まれ育つまちづくり

政策の目指す姿（案）

- ・結婚・妊娠・出産・子育ての希望が叶うまち
- ・安心して子どもを産み育てられるまち
- ・未来を担う人材が育つまち
- ・安全で安心して過ごせる教育環境の整ったまち
- ・基礎基本を習得した、たくましい人が育つまち
- ・子どもたちが健やかに成長するまち

分野	健康・福祉
課題	
・ 地域医療の充実が重要視されている。 ・ 中高年にとっては、地域医療や高齢者福祉を充実させることが、優先して取り組むべき課題である。	
強み	
・ まちの将来イメージでは、「健康・福祉のまち」のイメージが比較的強い。	

現総合計画の評価検証から抽出した将来のあるべき姿	
・ がん検診の受診率上昇により、早期発見、早期治療につなげ、がんによる死亡者数が減少している。 ・ 健やかでいきいきと心豊かに暮らせるまちとなっている。 ・ 中津川市で勤務する医師数が増えることで、少子高齢化などによる医療需要の変化に対応ができ、安定した地域医療の提供を継続できる。 ・ 救急医療提供体制が維持できる。 ・ 効率的で持続可能な病院経営と将来を見据えた広域化の検討により、中津川市民病院が今後も東濃東部の基幹的な役割を担える病院として存続し、持続可能な地域医療提供体制を確保する。 ・ 医師、看護師などの医療スタッフを確保することにより、安全・安心な医療を将来にわたり提供できる。 ・ 市民病院と他の医療機関とが連携を強化していくことで地域医療提供体制を維持できる。 ・ より多くの医療職員を目指す学生を支援、育成し、その学生が市内に就職することで地域医療を支える人材を確保できる。 ・ 妊娠・出産の相談体制やサポートの充実、経済的支援など、妊娠から出産・子育てまでの切れ目のない支援により安心して子どもを産み育てることができる。 ・ 児童虐待の発生予防から自立支援まで、関係する行政機関や民間団体などとの緊密な連携・協力による迅速な対応や継続的な支援により、子どもが、その生まれ育った環境により左右されることなく社会的に自立することができる。 ・ 発達に困りごとを抱えている子どもを持つ保護者が、安心して、相談しやすい、通いやすい、過ごしやすい施設を目指す。 ・ 障害の有無に関わらず、どんな子どもも等しく暮らしやすい、子育てを大事にできる社会。 ・ 発達に困りごとを抱えている子どもが手厚い療育を受け、大人になり社会の一員として過ごしていける。 ・ 「障がいのある人もない人も共に支え合い、生きがいを持ち安心して暮らせるまちづくり」の実現。 ・ 健康づくりを核とした高齢者の生きがいと介護予防を推進し、健康寿命を延ばすことで、高齢者が住みなれたまちで、健康で、生きがいをもって、いつまでも安心して尊厳を持ち、自立した暮らしができる社会。 ・ 必要な時に生活に対する保護を受けることができ、その後自立することができる。 ・ 生活困窮者が地域で自立に向けた生活ができています。 ・ 安定的に国民健康保険事業の運営が行われている。 ・ 生活習慣病などの早期発見、早期治療へつなげることで、健康寿命の延伸及び医療費が抑制される。	



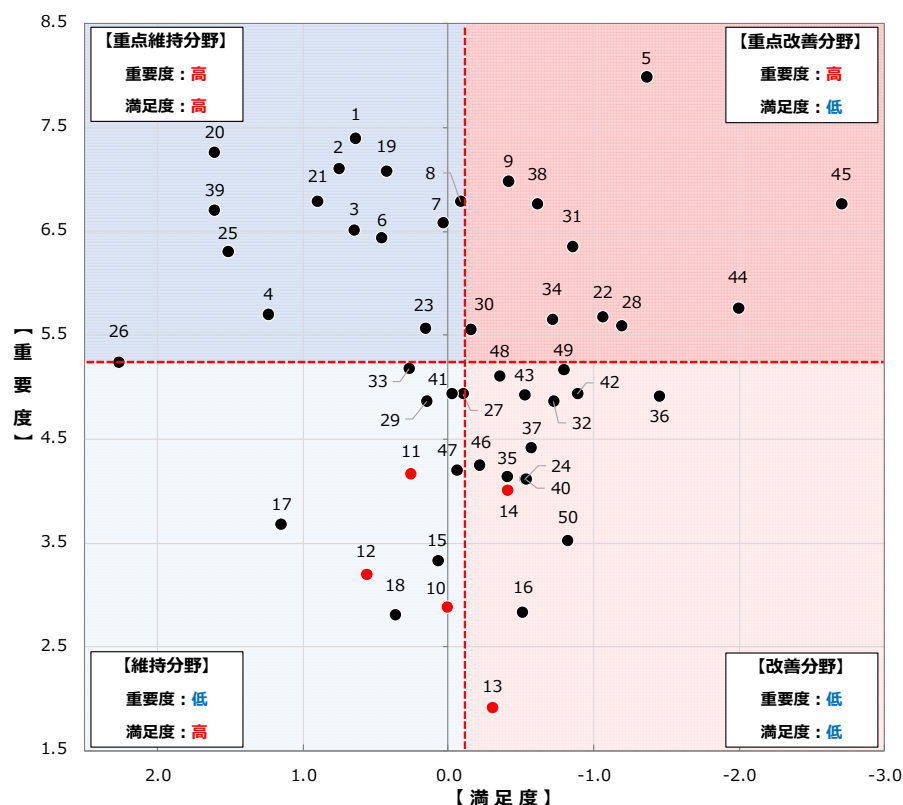
政策（案）
・ 住み慣れた地域で、自分らしく安心して健やかに暮らせるまちづくり
政策の目指す姿（案）
・ 健やかでいきいきと心豊かに暮らせるまち ・ 安心して医療が受けられるまち ・ 子どもが安心して成長できるまち ・ 障がいの有無にかかわらず、共に支え合い、生きがいを持ち安心して暮らせるまち ・ 高齢者が健康で、生きがいをもてるまち ・ 共に支え合い、助け合えるまち ・ 健康で安心して生活できるまち ・ 安定的な医療保険制度があるまち ・ 健康寿命が延びるまち

分野	共生・協働・定住
課題	
・市内には13地区あるが、それぞれに地域性が色濃くある。	
強み	
・人のやさしさ、温かさ、親切さが、本市に住んでよかった理由の上位に位置している。	

現総合計画の評価検証から抽出した将来のあるべき姿
・地域が協働し、地域活動が活発で、自治組織が持続可能な体制を築いている。 ・自治組織が自立した地域のコミュニティを維持し、地域課題を主体的に解決している。 ・市民が身近な地域に関心を持ち、誰もが活躍でき、開かれたコミュニティがある。 ・誰もが地域の一員として参加し、自立した活動が行われる。 ・人権啓発の推進、人権教育の推進、人権相談体制の充実により、人権尊重思想の普及、高揚が図られている。 ・市民が身近な地域に関心を持ち、誰もが(老若男女、国籍問わず)活躍でき、開かれたコミュニティがある。 ・地域づくりを目指した取り組みが進められ、地域の活性化、地域の自主・自立化が促進されている。 ・国際感覚、リーダーシップを持ったグローバル人材が育成される。 ・郷土の魅力が再認識され、地域への誇りと愛着が育まれている。 ・若者と市内企業の「出会う機会」の創出や市内企業の魅力の発信などにより、広く若者に市内企業知ってもらうことで、将来的に地元に戻って働く人が増える。 ・定住部署と連携し、事業承継も含めて、新規創業者を市外から呼び込むことで人口を創出できる。 ・ここで暮らし続けたいと希望する人が増加する。

市民アンケート調査

【満足度】								【重要度】							
項目	10～20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	項目	10～20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
全体平均	0.99	0.19	-0.53	-0.66	-0.94	0.04	0.72	全体平均	5.26	5.13	5.30	5.15	5.20	4.96	5.81
10. 多様性の尊重・多文化共生の推進	1.39	-0.53	0.50	-0.33	-0.75	-0.05	-0.09	10. 多様性の尊重・多文化共生の推進	3.19	2.39	3.21	2.19	2.65	2.52	3.58
11. 人権教育の推進	1.83	0.53	0.29	-0.27	-0.46	0.05	0.38	11. 人権教育の推進	3.92	4.26	5.07	3.61	4.12	3.92	4.72
12. 協働・市民活動・コミュニティ活動の充実	2.21	1.38	0.64	-0.33	-0.46	0.68	0.61	12. 協働・市民活動・コミュニティ活動の充実	3.52	2.34	2.97	2.58	3.18	3.51	4.44
13. 国際交流の充実	0.68	0.76	-0.57	-0.49	-0.98	-0.37	-0.43	13. 国際交流の充実	1.75	1.17	2.46	1.43	1.24	2.43	2.68
14. 移住・定住の促進	0.08	0.22	-0.36	-0.49	-1.78	-0.32	0.60	14. 移住・定住の促進	4.00	3.83	4.00	3.79	3.94	4.02	4.46



政策（案）

- ・さまざまな人々が尊重し合い、共に活躍できるまちづくり

政策の目指す姿（案）

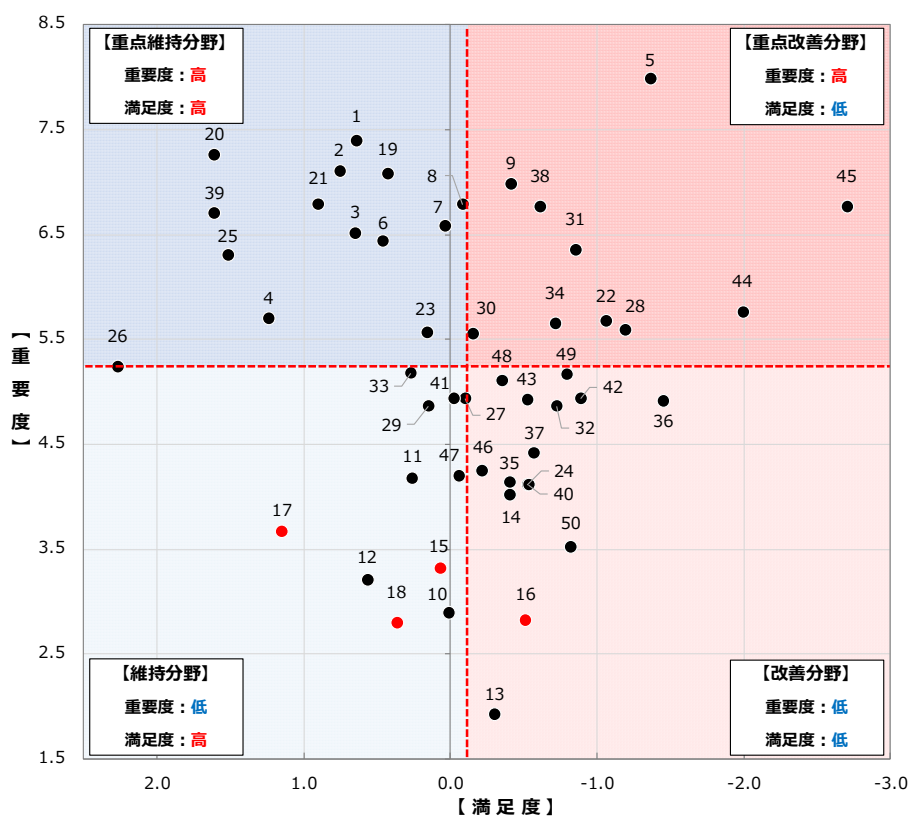
- ・男女共同参画が進むまち
- ・すべての市民が活躍できるまち
- ・多様性と共生のまち
- ・人権が尊重されるまち
- ・地域活動が活発で、自立した地域が育つまち
- ・誰もが参加し、活躍できる地域コミュニティが活発なまち
- ・地域への誇りと愛着が醸成されるまち
- ・連携と交流による地域活性化のまち
- ・国際感覚豊かなリーダーが育つまち
- ・地域への誇りと愛着が醸成されるまち
- ・魅力と活力に溢れるまち
- ・若者が住みたくなるまち

分野	生涯学習・文化・スポーツ
課題	
・市内には多くの魅力があるものの、それを生かし切れていない。	
強み	
・歴史文化の豊かさが、市の強みとして認識されている。 ・市の強みは、伝統芸能などの歴史・文化資源である。	

現総合計画の評価検証から抽出した将来のあるべき姿	
・市民が、生涯のいつであっても、自由に学習機会（スポーツ含む）を選択して学ぶことができる。 ・市民が学んだ成果を適切に評価されている。 ・全ての家庭で子どもに読み聞かせが行われ、乳幼児期から本への興味を持っている。 ・生涯に渡って読書を楽しむ過程で、図書館が利用されている。 ・図書館に関わる活動が活発に行われ、生きがいや、やりがいにつながっている。 ・地域の歴史や文化に親しむことで、郷土愛を育み、多世代が交流しながら、次世代への継承が行われている。 ・伝統芸能団体の活動が継続的行われ、持続可能な体制が構築されると同時に、アーカイブとして記録に残されている。 ・指定文化財及び地域の文化資源を適正に管理、継承するため、経年劣化などによる損傷が激しいそれらに対し、計画的な修復が行われ、適切な状態での保存が行われる。 ・市内に点在する郷土資料が集約され、適切に保存、管理、活用ができています。 ・子どもの頃から、芸術文化が身近にあることで、豊かな心を育み、観る、触れる、創造する活動が主体的、活発に行われる。	

市民アンケート調査

【満足度】								【重要度】							
項目	10～20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	項目	10～20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
全体平均	0.99	0.19	-0.53	-0.66	-0.94	0.04	0.72	全体平均	5.26	5.13	5.30	5.15	5.20	4.96	5.81
15. 生涯学習の充実	0.74	0.00	-0.21	-0.16	-0.92	0.41	0.63	15. 生涯学習の充実	3.00	2.87	3.29	3.24	3.00	3.33	4.72
16. 社会人の学び直しの充実	0.16	-0.64	-0.86	-0.87	-1.10	-0.19	-0.09	16. 社会人の学び直しの充実	3.03	2.23	3.36	2.98	2.24	2.62	3.89
17. 歴史・文化、伝統芸能の保全・伝承・利活用	3.11	1.63	0.86	0.60	0.29	0.93	1.55	17. 歴史・文化、伝統芸能の保全・伝承・利活用	3.93	2.34	3.43	3.57	3.82	3.43	4.91
18. スポーツの振興	0.17	0.11	0.21	0.22	-0.40	0.79	1.58	18. スポーツの振興	3.92	2.13	3.29	2.50	1.71	2.79	3.98



政策（案）

- ・人々が学びや活動を通して、いきいきと暮らすことができるまちづくり

政策の目指す姿（案）

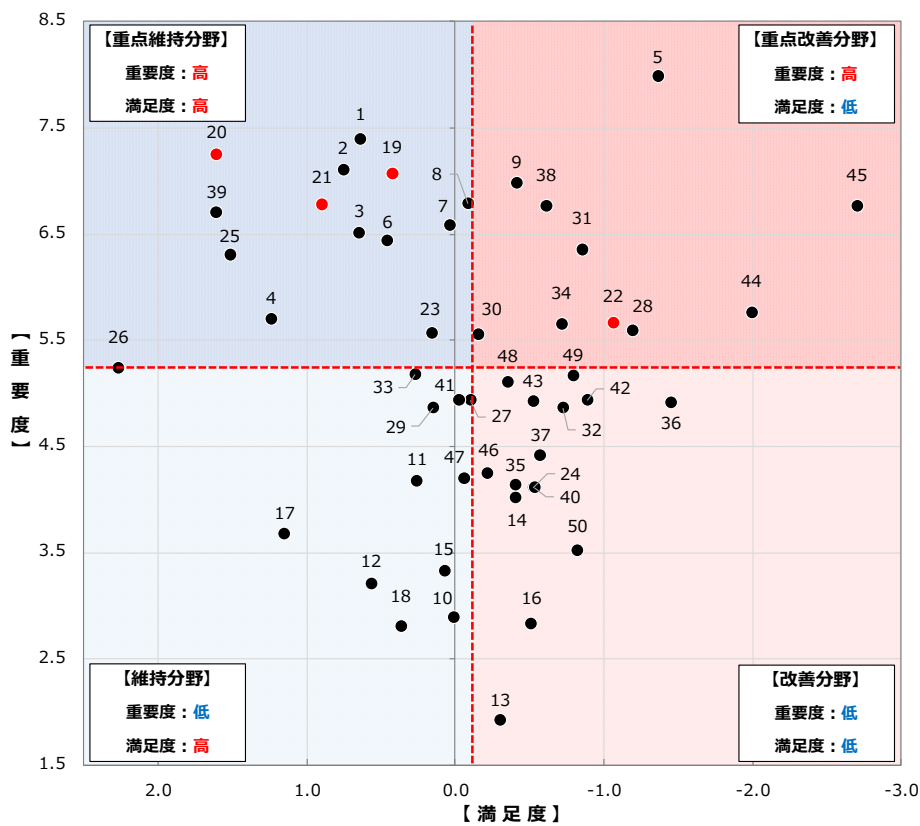
- ・生涯学習により活気あふれるまち
- ・読書で子どもの未来を育むまち
- ・いつでも学ぶことができるまち
- ・歴史と文化に親しむまち
- ・伝統芸能が守られ、将来に渡って継承されるまち
- ・芸術に親しむまち
- ・歴史と文化が息づくまち
- ・スポーツにより、活気あふれるまち

分野	防災・防犯
課題	
・ 防災・減災対策の充実は、重要な施策の上位に位置する。	
強み	
・ 治安の良さが市の強みである。 ・ 自然災害の少なさが市の強みである。	

現総合計画の評価検証から抽出した将来のあるべき姿
・ 安全な緊急輸送路が確保されることで、避難者の安全・安心な避難行動が確保されている。 ・ 市民一人ひとりが高い防災意識を持ち、日頃から自助、共助の重要性を認識し、災害に対する備えができています。 ・ 耐震性が不十分な住宅が解消されている。 ・ 林道の維持管理により森林が整備され、健全な森林の育成につながることで、水を蓄え洪水を防止し、土砂の流出を抑止することができています。 ・ 用排水路、農道やため池を維持管理することで、健全な農地が守られ、洪水防止、土砂崩壊防止、土壌浸食防止などの働きを高め、水害を防ぐことができています。 ・ 災害時においても人命を守るための十分な備えができており、人的な被害が発生しない。 ・ 自助共助体制を整え、子どもから大人まで、誰もが応急手当を実施できるようになる事で、市民の救命率の向上につながる。 ・ バイスタンダーによる応急手当とAEDの早期使用により市民の救命率向上が図られる。 ・ 消防用設備の適切な点検実施により、火災の早期発見につながり、被害が軽減される。 ・ 住宅用火災警報器の設置率が向上し、機器の自主点検などの維持管理が適切に行われ市民の安全・安心な暮らしが保たれる。 ・ 消防団員数が適正に確保され、災害時などにおいても市民の安全・安心が保たれている。 ・ 消防車両などが適正に更新される事で、市民の安全・安心な暮らしが保たれる。 ・ 安定した空家対応の体制が整備される。 ・ 地域全体で犯罪を抑止する体制を強化する。 ・ 特殊詐欺などについての市民への情報提供により、発生防止が図られる。 ・ 出前講座の開催などにより消費生活の啓発が強化され、高齢者や若者がトラブルに巻き込まれることが未然に防止される。 ・ 交通事故による死亡者が減少している。 ・ 交通弱者が安心して安全に生活できる。

市民アンケート調査

【満足度】								【重要度】							
項目	10～20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	項目	10～20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
全体平均	0.99	0.19	-0.53	-0.66	-0.94	0.04	0.72	全体平均	5.26	5.13	5.30	5.15	5.20	4.96	5.81
19. 防災・減災対策の充実	0.41	0.96	0.22	0.22	-1.03	0.69	1.75	19. 防災・減災対策の充実	6.78	6.81	7.57	7.20	7.50	6.65	6.91
20. 消防・救急体制の充実	1.80	0.87	0.86	1.68	0.35	2.16	2.84	20. 消防・救急体制の充実	6.97	7.34	7.43	7.31	7.73	6.76	7.50
21. 防犯・交通安全対策の充実	1.50	1.38	-0.50	1.03	0.00	0.55	2.59	21. 防犯・交通安全対策の充実	6.44	7.23	7.43	6.81	6.69	6.14	7.55
22. 消費生活対策の充実	-0.16	-0.74	-1.79	-1.79	-1.94	-0.73	0.00	22. 消費生活対策の充実	5.83	6.41	5.86	5.33	5.73	5.05	6.36



政策（案）

- ・ 支えあい、安全・安心に暮らせるまちづくり

政策の目指す姿（案）

- ・ 災害に強い安全なまち
- ・ 消防、救急体制が整い、安心して暮らせるまち
- ・ 事件、事故のない安全なまち

分野	環境
課題	
・市内には多くの魅力があるものの、それを生かし切れていない。 ・2036年の将来像としては、「自然」に言及するキーワードが多い。	
強み	
・豊かな自然（森林、清流など）が市の強みである。 ・自然災害の少なさ。	

現総合計画の評価検証から抽出した将来のあるべき姿
・自然環境保全に関する認識を持った市民が増えることで、活動に携わる人が増え、豊かな自然や環境を次世代につないでいくことができる。 ・下水道計画エリアでは下水道接続率の向上を図り、下水道計画エリア外では、合併処理浄化槽により水洗化を図ることで、汚水の適切な処理が実現できている。 ・下水道事業の官民連携、広域化・施設統廃合などを推進することで、健全な財政状況による効率的な事業経営により、持続可能な下水道事業が実現できている。 ・広域化、施設の統廃合などの経費削減策に取り組み、適正な下水道使用料を徴収し、施設（設備）の更新、維持管理を行うことで、安定的な下水道経営が継続できる。 ・水害に強い河川を整備することで、市民の安全・安心な生活を確保できる。 ・市民の環境意識が醸成され、脱炭素の取り組みとともに家庭ごみの減量につながっている。 ・ゼロカーボンシティ実現のため、市民、事業所、市が協働して地球温暖化防止の施策を実施することができている。 ・市民から排出される一般廃棄物の収集、運搬を安全かつ適正に行うことにより、市民の衛生的な生活環境の保全が図られる。 ・ごみ処理施設の安全かつ安定した稼働が行われる。 ・3R(ごみ発生抑制、再利用、再資源化)の促進や分別排出を徹底を促すことで、ごみ減量化が図られている。 ・ごみの分別、減量・資源化に向け、ごみを出さないライフスタイルや、ごみが出にくい事業活動の定着、将来に向けてのごみの少ない地域づくりを実現できている。 ・地域住民などとの協力体制が強化されている。 ・污泥処理施設の持続的かつ安定的な運営ができる。 ・し尿収集業務が適正に実施されている。 ・持続的な資源循環型地域社会が実現される。 ・周辺の地域の魅力向上につながる新しい斎場の整備が実現される。 ・斎場の適正な維持管理により、火葬業務が円滑に遂行される。 ・墓じまいや集約移転の促進、納骨堂の整備を行うことで、墓地環境の維持にかかる費用が抑制される。

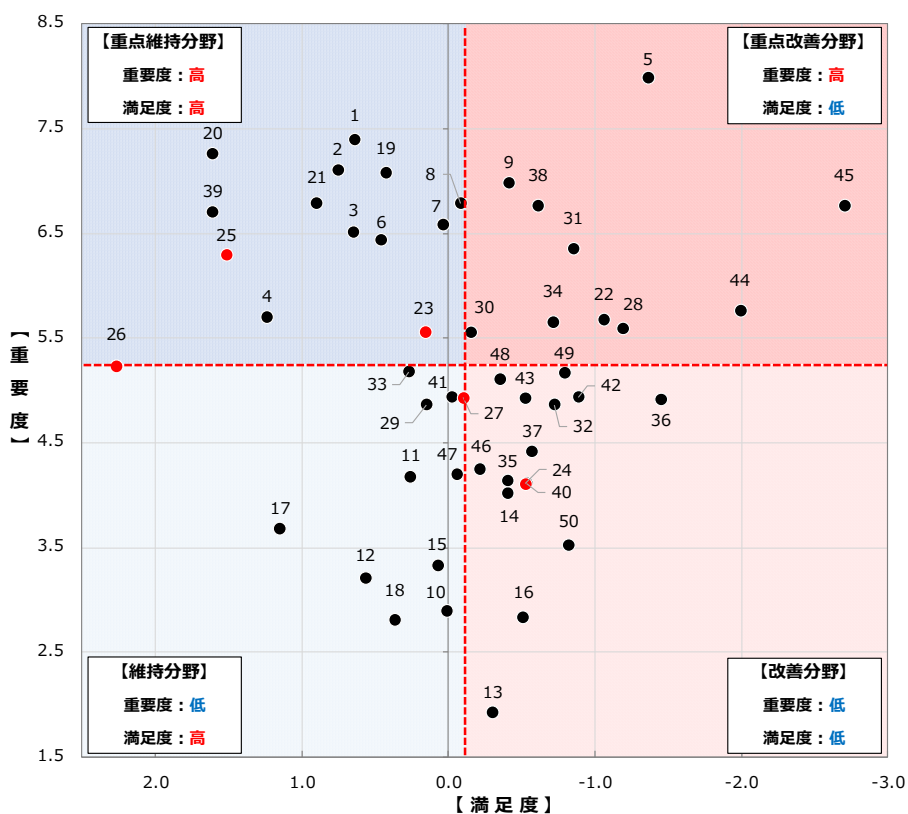
市民アンケート調査

【満足度】

項目	10～20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
全体平均	0.99	0.19	-0.53	-0.66	-0.94	0.04	0.72
23. 自然環境の保全	1.89	0.64	-0.14	-0.33	-0.71	-0.41	1.32
24. 再生可能エネルギー・新エネルギー導入の推進	0.82	-0.21	-0.86	-0.99	-1.47	-0.37	0.09
25. ごみ対策の充実	1.48	0.32	0.50	1.21	0.99	2.32	3.19
26. し尿収集・処理の充実	1.92	1.67	1.50	1.94	1.41	2.61	4.56
27. 生活環境保全の推進（畜場・墓地の整備等）	1.33	1.06	-0.22	-0.33	-1.15	-0.93	0.73

【重要度】

項目	10～20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
全体平均	5.26	5.13	5.30	5.15	5.20	4.96	5.81
23. 自然環境の保全	5.17	5.53	5.86	5.71	5.41	5.29	6.27
24. 再生可能エネルギー・新エネルギー導入の推進	4.67	3.62	3.71	3.46	4.13	4.85	4.54
25. ごみ対策の充実	5.90	5.21	5.94	6.43	6.74	6.54	6.96
26. し尿収集・処理の充実	4.42	4.57	4.34	5.39	5.29	5.43	6.79
27. 生活環境保全の推進（畜場・墓地の整備等）	4.17	3.30	4.06	5.49	5.59	4.95	6.30



政策（案）

- ・ 恵まれた自然を守り、生かすまちづくり

政策の目指す姿（案）

- ・ 自然環境を守るまち
- ・ 環境に優しい持続可能なまち
- ・ 衛生的で持続可能なごみ処理が行われているまち
- ・ 持続可能な社会を次世代につなげる循環型の地域づくりが進んでいるまち
- ・ 衛生的な生活が守られているまち
- ・ 生活環境が守られているまち
- ・ 市民が身近な場所で安心して葬儀等を営むことができるまち

分野	産業
課題	
・商業施設や遊ぶ場所が不足しており、若者に不満が多い。 ・リニアを生かしたまちづくりが、優先して取り組むべき課題である。	
強み	
・林業は、市にとって誇り高い産業である。 ・特産物である栗は市の強みである。 ・大規模な製造業が集積している。	

現総合計画の評価検証から抽出した将来のあるべき姿
・中心市街地の活性化を目指すとともに、商工団体などと連携し、空き店舗、空き地の活用や、まちなかで創業したい方の支援など、商業環境の魅力が向上している。 ・駅前の拠点の形成を推進するとともに、まちなかの歴史的資源を活用したまちづくりがされている。 ・地域の魅力が活かされ、おもてなしの力により地域の観光価値を高められることで、誘客が促進され、持続可能な観光地が確立されている。 ・観光客が中心市街地内を観光や飲食などで回遊して楽しめる街になっている。 ・中心市街地から郊外の店舗や観光地へと向かう人流が増えるような仕掛けや取り組みができています。 ・市内の魅力的な商品が全国で広く販売され、商品を通じて市の魅力が広く発信されている。 ・創意工夫により魅力的な商品が開発され、将来にわたって持続的に商業が発展している。 ・企業のデジタル化の推進や多様な働き方への対応など、社会の変化に対応しつつ「働く意欲」を持つ多様な人材が活躍できる社会を構築する。 ・各企業の安定した事業経営により雇用環境が安定し、市内での就労人口の増加が図られている。 ・多様な業種が安定して立地していることで、選択肢の拡大が図られている。 ・「ものづくりのまち中津川」としてのブランドが構築されている。 ・石材、木工業などの後継者が確保され、需要拡大が図られるとともに、新たな商品開発や販路拡大などにより、稼ぐ力が向上している。 ・効率的な飼育施設などが整備され、畜産農家が安定して出荷できる基盤が整っている。 ・飼料の自給率が向上し、外的要因に左右されにくい健全な畜産経営が行われている。 ・飛騨牛の主要産地としての知名度が向上する。 ・若者の市外流出が抑制され、地域で育った若者と市内企業の出会う機会が構築されている。 ・リニアのアドバンテージを生かした誘致戦略により、多岐に渡る職業選択ができる環境が構築される。 ・道路交通網の整備により各企業の生産性の向上が図られる。 ・地域農業の担い手が増加し、農地が効率的に利用されることで所得の向上が図られ、遊休農地の減少と持続可能な農業が実現している。 ・それぞれの地域において魅力と特色のある営農が展開されている。 ・適切な農地管理により、農村の景観が維持されるとともに、防災機能が発揮されている。 ・農地・水路・農道・ため池などの地域資源が適切に維持管理され、労働環境の改善につながる。 ・市民が森林に興味を持ち、新規林業従事者が増加、定着することで、市内の森林が適正に整備され、持続可能な林業が実現している。

- ・建築物に多くの市産材が使用され、植栽から伐採までの森林整備が計画的に行われ、持続可能な林業が実現されている。
- ・林道整備事業により林道が適切に整備・管理され、安全な通行が確保される事で、市内の森林整備に繋がっている。

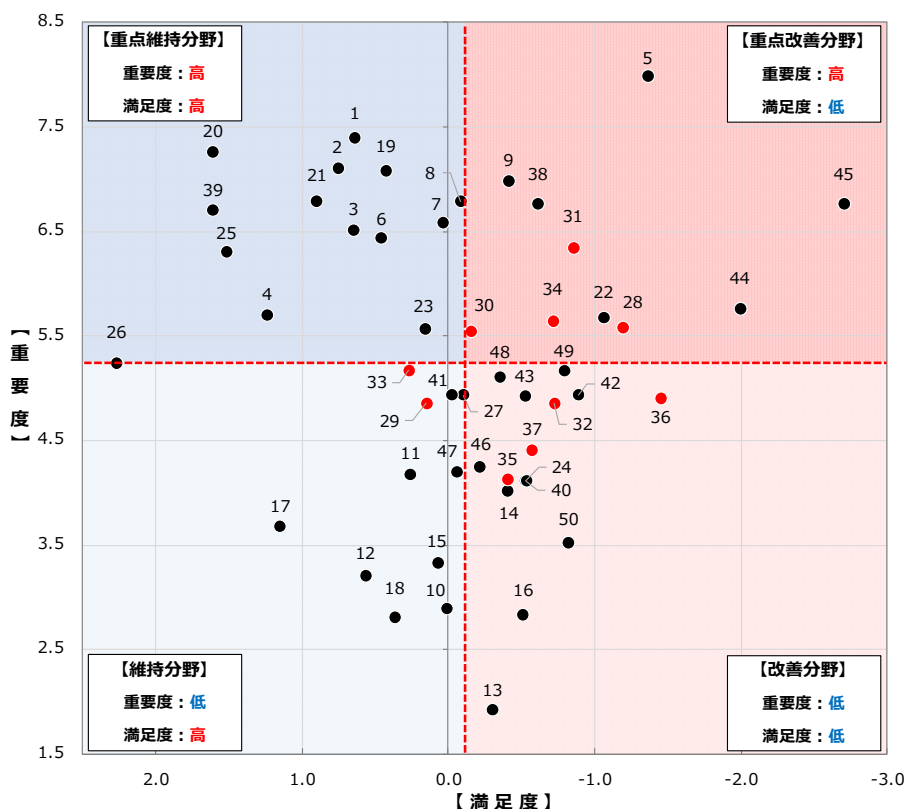
市民アンケート調査

【満足度】

項目	10～20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
全体平均	0.99	0.19	-0.53	-0.66	-0.94	0.04	0.72
28. 商業の振興	0.00	-1.60	-2.07	-2.20	-1.86	-0.88	0.73
29. 工業の振興	1.39	0.53	-0.51	-0.27	-0.63	-0.19	1.82
30. 地場産業の振興	1.15	0.21	-0.80	-0.93	-0.80	-0.23	1.25
31. 雇用対策の充実	0.00	-0.32	-1.45	-2.25	-1.72	-0.23	0.64
32. 企業誘致の推進	0.17	-0.96	-1.00	-1.48	-1.41	-0.37	0.61
33. 観光の振興	3.28	0.43	-0.29	-0.60	-0.47	0.27	0.00
34. 農業の振興	1.48	0.43	-1.07	-1.81	-1.67	-0.88	0.09
35. 畜産の振興	1.08	0.43	-0.86	-0.66	-1.32	-0.19	-0.53
36. 鳥獣害対策の充実	0.33	-0.11	-0.43	-1.98	-2.41	-2.11	-1.94
37. 林業の振興	1.48	0.53	-0.36	-1.04	-1.26	-1.34	-0.52

【重要度】

項目	10～20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
全体平均	5.26	5.13	5.30	5.15	5.20	4.96	5.81
28. 商業の振興	6.02	6.38	5.36	6.26	5.06	5.19	5.09
29. 工業の振興	4.26	4.68	4.78	5.00	4.53	5.29	5.19
30. 地場産業の振興	5.00	5.43	5.29	5.71	5.41	5.78	5.93
31. 雇用対策の充実	6.07	6.17	5.87	7.03	6.53	6.26	5.93
32. 企業誘致の推進	4.67	3.51	4.42	4.89	5.06	5.29	5.46
33. 観光の振興	5.41	4.57	5.22	5.66	4.77	4.95	5.96
34. 農業の振興	5.00	4.79	5.58	5.88	6.00	5.67	6.39
35. 畜産の振興	3.93	4.02	4.56	3.74	4.35	3.87	5.09
36. 鳥獣害対策の充実	4.34	4.68	3.84	4.89	5.00	5.67	5.59
37. 林業の振興	4.02	3.59	3.77	4.95	4.29	4.61	5.28



政策（案）
・ 自然や文化を活用し、さまざまな産業が活発なまちづくり
政策の目指す姿（案）
・ 中心市街地に活気があふれるまち ・ さまざまな商業サービスが受けられるまち ・ 商業の持続可能な発展が実現しているまち ・ 工業の持続可能な発展が実現しているまち ・ 誰もが働きがいをもって活躍できるまち ・ 安定した畜産基盤が確立されているまち ・ 地場産業の存続と発展のまち ・ 働く人が安心して豊かに暮らせるまち ・ 若者が活躍できるまち ・ ものづくりのまち ・ 観光関連産業が活発なまち ・ 持続可能な観光のまち ・ 持続可能な農業のまち ・ 魅力ある地域農業のまち ・ 畜産業が発展し、安定した経営基盤が確立されているまち ・ 鳥獣害対策が適切に実施されているまち ・ 持続可能な林業のまち

分野	基盤整備
課題	
・リニアによる市の発展が期待されており、期待に応じた基盤整備が求められている。 ・市の弱みは、公共交通機関（バスやタクシーなど）が脆弱であることであり、公共交通機関の整備と充実が強く求められている。 ・都市基盤整備（都市計画の見直しや空き家対策）が求められている。	
強み	
・リニア中央新幹線整備による市の発展へのポテンシャル。	

現総合計画の評価検証から抽出した将来のあるべき姿	
・快適な道路網の整備により、市民の生活利便性が向上し、人口の増加につながる。 ・土地の境界が明確となることで、土地取引が活性化する。 ・リニア駅周辺区域において、アクセス道路（駅前広場含む）や生活道路、公園などの公共施設の整備と周辺の宅地造成などの一体的整備により、土地利用が図られる。 ・リニア事業、リニア関連事業が早期に完了することで、市民への工事による影響が無くなると共に、リニアによる交通の利便性が向上する。 ・リニア駅との広域的ネットワークが形成されることで来訪者が増加し、関係人口が増加する。 ・駅周辺の住環境の確保により来訪者と地域住民の交流が生まれ、にぎわいのある駅周辺が創出されることで定住者の増加、人口増に結びついている。 ・安全・安心して利用できる市役所、市民病院、消防署が整備される。 ・災害に強い水道施設の構築により、被災時の早期復旧が可能となる。 ・安全・安心な水道水の供給を安定して継続し、老朽化した管路の計画的な更新、適正な料金水準の維持ができています。 ・公営住宅の住環境の向上が図られ、住居が必要な若者や移住者に有効活用されている。 ・市内各地域においてまとまりのある居住環境が整備され、若者や移住者の住む場所が確保され、移住者希望者が増えている。 ・すべての人の移動手段が維持、確保され、住み慣れた場所で安心して生活できている。 ・安全で持続可能な地域公共交通網が構築されていることで、定住推進につながる。 ・自動運転技術と新たな拠点の創出により、リニアなど広域交通の整備効果を市内全域へ波及させるとともに、多拠点ネットワークによる集約型都市構造が実現している。	

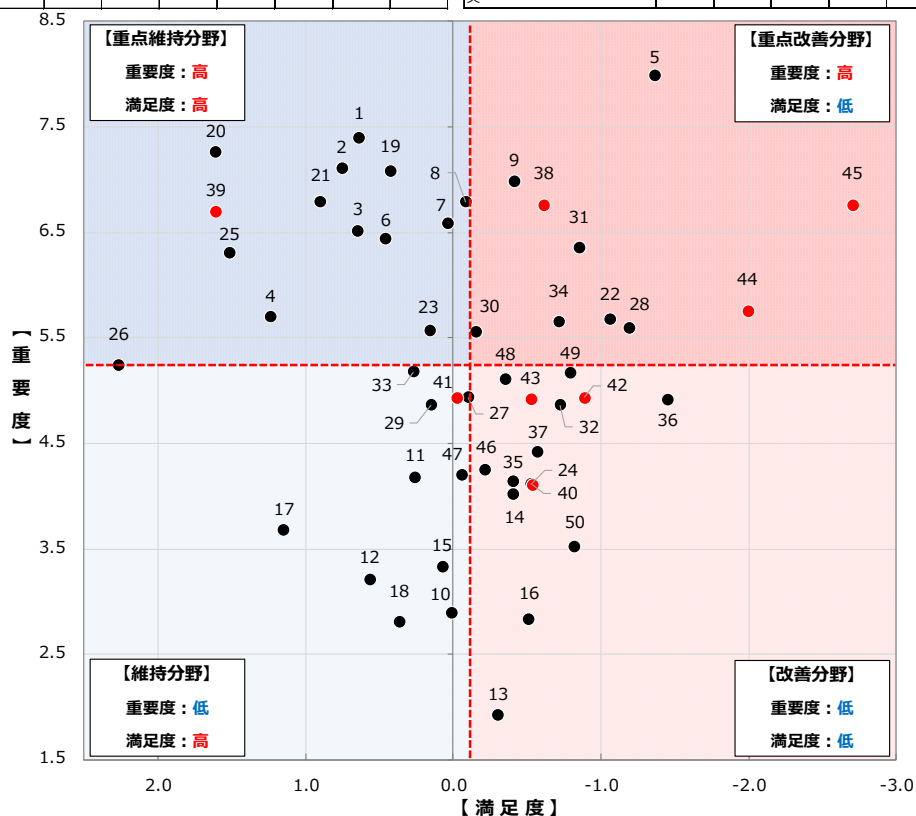
市民アンケート調査

【満足度】

項目	10～20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
全体平均	0.99	0.19	-0.53	-0.66	-0.94	0.04	0.72
38. 道路、橋梁の整備・維持管理	0.41	-0.11	-1.23	-1.30	-1.61	-0.41	0.63
39. 上下水道の整備・維持管理	2.70	2.13	0.58	0.82	0.64	1.79	3.13
40. リニアを活かす基盤整備	0.08	-0.74	-1.57	-0.82	-1.51	0.28	0.44
41. 良好な街並み・景観の整備	2.58	0.87	-0.93	-1.36	-0.29	0.23	-0.34
42. 計画的な都市整備の推進	0.49	-0.96	-1.50	-1.85	-1.38	-0.46	-0.17
43. 公園・緑地の整備・維持管理	1.08	-0.74	-0.79	-1.48	-1.57	-0.09	0.17
44. 居住環境の整備（住宅改修補助、空き家対策など）	-0.42	-0.53	-2.64	-2.83	-3.02	-1.76	-2.05
45. 公共交通機関の整備・充実	-0.58	-2.02	-3.29	-4.18	-3.56	-2.29	-1.52

【重要度】

項目	10～20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
全体平均	5.26	5.13	5.30	5.15	5.20	4.96	5.81
38. 道路、橋梁の整備・維持管理	7.08	5.96	6.74	6.48	7.33	6.52	7.17
39. 上下水道の整備・維持管理	7.00	6.60	6.09	6.32	7.53	6.39	7.22
40. リニアを活かす基盤整備	5.74	4.89	4.42	3.96	3.37	3.22	4.17
41. 良好な街並み・景観の整備	5.90	5.32	5.22	5.22	4.06	4.22	5.65
42. 計画的な都市整備の推進	5.50	5.00	5.29	4.94	4.42	4.32	5.74
43. 公園・緑地の整備・維持管理	5.82	6.70	5.58	4.72	4.07	3.59	5.55
44. 居住環境の整備（住宅改修補助、空き家対策など）	5.82	5.98	5.37	5.93	6.00	5.34	6.04
45. 公共交通機関の整備・充実	6.78	6.17	6.47	7.22	6.63	6.59	7.31



政策（案）

- ・ 計画的に整備されたまちの中で、快適に暮らせるまちづくり

政策の目指す姿（案）

- ・ 安全で快適に移動できるまち
- ・ 持続可能な水環境を守るまち
- ・ 安全で安心な水が安定して供給されるまち
- ・ リニア駅周辺が広域交通結節点として機能し新たな賑わいが創出されるまち
- ・ リニア整備中も安全・安心で暮らせるまち
- ・ 広域交通網を活用したさまざまな産業が活発なまち
- ・ 賑わいと魅力のあるまち
- ・ 土地利用が適正に行われるまち
- ・ 市民が安らげる場所の環境が整ったまち
- ・ 魅力的な居住環境の整ったまち
- ・ 安全で持続可能な地域公共交通網が整ったまち
- ・ 広域交通網と地域内の拠点がつながるネットワークが整ったまち
- ・ 自動車に依存せずとも暮らしていけるまち

分野	行政運営
課題	
・市のイメージとしては、行政運営が保守的である、計画的なまちづくりが行われていないといった意見が強くあり、これを払しょくする必要がある。 ・市の弱みは、行政運営に関して、新規分野への取り組みが停滞している、市が目指すビジョンが伝わっていないことである。 ・不足している施策は、市が行っている取り組み自体への認知度が低いことや PR 不足を解決する施策である。	
強み	
・市民の満足している施策は、「生活応援商品券の発行」や、「リニアのまちづくり」である。 ・関係各課による施策の実施状況について、全体的には、総合計画の施策の実施状況は「概ね順調」である。	

現総合計画の評価検証から抽出した将来のあるべき姿
・必要な人へ必要な情報が届けられている ・市民の意見が広く集められ、意見が適切に反映されている ・安全・安心して利用できる公共施設が整っている。 ・利便性の高い公共施設が整っている。 ・適正な規模の公共施設が整備されている。 ・行政サービスの向上により、市民が便利に暮らせている ・安全・安心して利用できる市役所、市民病院、消防署が整備される。 ・行財政運営が効率的かつ適正に実施されている。 ・公正で公平な負担が適切に行われている。 ・DX が推進され、効率的な行政運営が行われている。 ・デジタル化が推進され、市民の利便性が向上している。

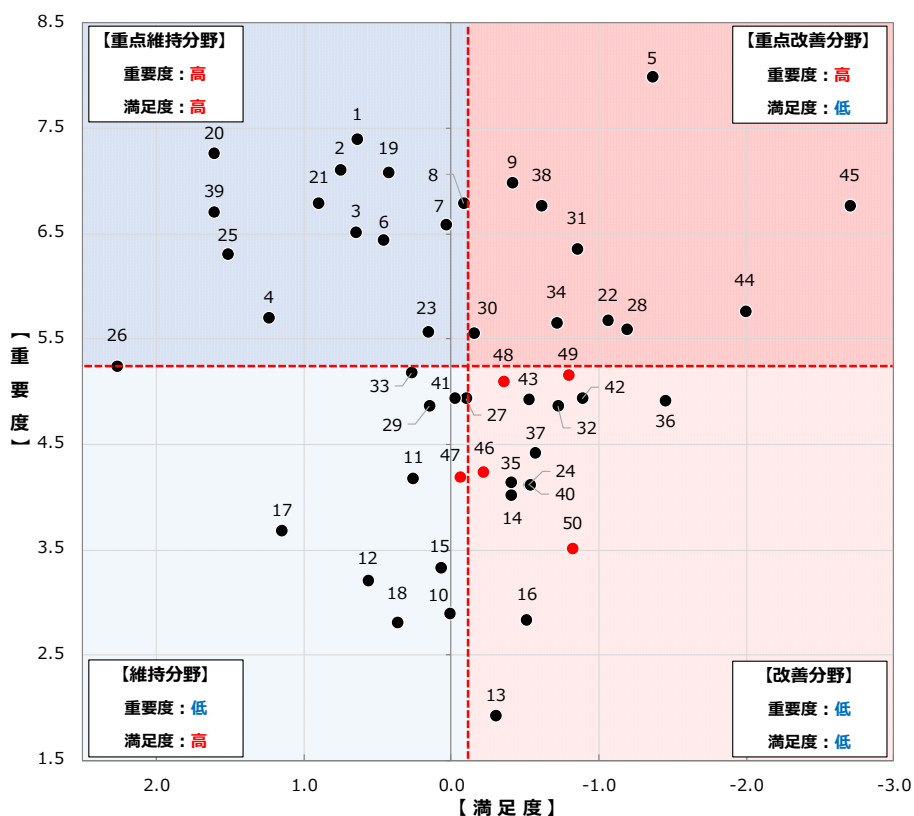
市民アンケート調査

【満足度】

項目	10～20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
全体平均	0.99	0.19	-0.53	-0.66	-0.94	0.04	0.72
46. 情報発信の強化	0.75	0.11	-0.64	-1.14	-0.81	0.18	0.26
47. 公共施設の適正化の推進	1.42	0.85	-0.57	-1.09	-0.64	0.32	0.18
48. 行政サービスの向上・適正化	0.25	-0.21	-0.51	-1.30	-0.86	0.09	0.53
49. 効率的な財政運営の推進	0.16	-0.96	-1.67	-1.63	-1.09	-0.41	0.27
50. デジタル化の推進	-0.08	-0.74	-1.50	-1.03	-1.61	-0.69	0.44

【重要度】

項目	10～20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
全体平均	5.26	5.13	5.30	5.15	5.20	4.96	5.81
46. 情報発信の強化	4.75	4.04	4.41	4.12	3.51	3.80	5.55
47. 公共施設の適正化の推進	5.50	4.04	4.28	3.67	3.55	3.64	5.45
48. 行政サービスの向上・適正化	5.74	5.21	5.00	5.16	4.88	4.52	5.65
49. 効率的な財政運営の推進	5.34	5.21	5.65	5.93	5.00	3.89	5.46
50. デジタル化の推進	4.84	4.15	4.13	3.57	3.02	2.26	3.52



政策（案）

- ・ 持続可能で安定した行政サービスが受けられるまち

政策の目指す姿（案）

- ・ 市政情報を積極的に発信するまち
- ・ 市民の声を広く集めているまち
- ・ 公共施設が適正な規模で整っているまち
- ・ 行政サービスが向上し、市民が便利に暮らせるまち
- ・ 多様化した行政ニーズに柔軟に対応する行政運営ができるまち
- ・ 広域的な連携により効率的な行政運営ができるまち
- ・ 効率的かつ持続可能な財政運営がなされているまち
- ・ 持続可能な財政基盤が整っているまち
- ・ DXの推進により市民の利便性が高いまち

政策（案）

政策の目指す姿から、分野ごとに政策を検討します。

分野	政策（案）
子育て・教育	心身共にたくましい子が、産まれ育つまちづくり
健康・福祉	住み慣れた地域で、自分らしく安心して健やかに暮らせるまちづくり
共生・協働・定住	さまざまな人々が尊重し合い、共に活躍できるまちづくり
生涯学習・文化・スポーツ	人々が学びや活動を通して、いきいきと暮らすことができるまちづくり
防災・防犯	支えあい、安全・安心に暮らせるまちづくり
環境	恵まれた自然を守り、生かすまちづくり
産業	自然や文化を活用し、さまざまな産業が活発なまちづくり
基盤整備	計画的に整備されたまちの中で、快適に暮らせるまちづくり
行政運営	持続可能で安定した行政サービスが受けられるまちづくり